

屋外の蚊成虫に対する用法・用量の追加承認一覧表

平成28年6月1日

区分	有効成分	含有率 (%)	剤型	用法・用量	商品名[メーカー名略号*]
	<有機リン系を含む>				
医薬品	フェニロチオン	10	乳剤	直接噴霧:通常、20倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり100～250倍液20mLを噴霧する。	金鳥スミチオン乳剤[大]、プレミアムスミチオン乳剤[フ]
医薬品	フェニロチオン	10	フロアブル剤	直接噴霧:通常、20倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり100～200倍液20mLを噴霧する。	スミチオン10FL「SES」[住]
医薬品	フェンチオン, フタルスリン	5, 0.5	乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり200～400倍液50mLを噴霧する。	三丸バイテックスNP乳剤[サ]
医薬品	トリクロロホン, ジクロルボス	5, 2	乳剤	直接噴霧:10倍液を適宜噴霧 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり200～400倍液50mLを噴霧する。	ディプサイドD乳剤[サ]
医薬品	プロベタンホス	3	水性乳剤	直接噴霧:通常、10倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり10～50倍液20mLを噴霧する。	水性サフロチン乳剤「SES」[住]
医薬品	フェニロチオン	1	油剤	直接噴霧:通常、成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり1～2mLを煙霧機で噴霧する。	プレミアムスミチオン油剤[フ]
医薬品	フェニロチオン, フタルスリン, ピペロニルブトキシザイド	0.5, 0.05, 0.25	油剤	1㎡あたり25～50mLを噴霧 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡につき1～2mLを煙霧機で噴霧する。	スミチオンNP油剤[フ]
	<ピレスロイド系>				
防除用医薬部外品	エトフェンブロックス	5	乳剤	直接噴霧:通常100～200倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり100～200倍液50mLを噴霧する。	レナトップ乳剤[三]
防除用医薬部外品	エトフェンブロックス	7	水性乳剤	直接噴霧:50～100倍液を害虫に向け適宜噴霧する。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり50～100倍液50mLを噴霧する。	ベルミートル水性乳剤アクア[三]、レナトップ水性乳剤2[三]、ETF水性乳剤2[三]、サンタリーEP水性乳剤[フ]
医薬品	シフルトリン	1	水性乳剤	直接噴霧:通常、25～50倍液を成虫に向けて適宜噴霧する。この際、過剰な使用を避ける。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり50～100倍液20mLを噴霧する。	レスポンサー水性乳剤[バ]
防除用医薬部外品	フェノトリン	10	水性乳剤	直接噴霧:50～100倍液を50mL/㎡噴霧する。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡につき50～100倍液20mLを噴霧する。	スミスリン乳剤「SES」[住]、金鳥スミスリン乳剤[大]、スミスリン乳剤[フ]
防除用医薬部外品	ペルメトリン	5	水性乳剤	直接噴霧:50～100倍液を50mL/㎡噴霧する。 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡につき50～100倍液20mLを噴霧する。	エクスマン乳剤「SES」[住]、金鳥エクスマン乳剤[大]、エクスマン乳剤P[フ]
医薬品	フェノトリン	10	ULV	原液:1m3あたり0.4mLを空間散布 2倍液:1m3あたり0.8mLを空間散布 4倍液:1m3あたり1.6mLを空間散布 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり原液を0.4mL濃厚少量噴霧機で噴霧する。	金鳥ULV乳剤S[大]
医薬品	ペルメトリン	5	ULV	原液:1m3あたり0.4mL～0.6mLを空間散布 2倍液:1m3あたり0.8mL～1.2mLを空間散布 4倍液:1m3あたり1.6mL～2.4mLを空間散布 屋外処理:蚊成虫の生息場所に1㎡あたり原液を0.4mL濃厚少量噴霧機で噴霧する。	金鳥ULV乳剤E[大]

*印は、サ=サンケミファ、住=住化エンバイロメンタルサイエンス、大=大日本除虫菊、フ=フマキラー・トータルシステム、三=三井化学アグロ、バ=バイエルクロップサイエンス、